

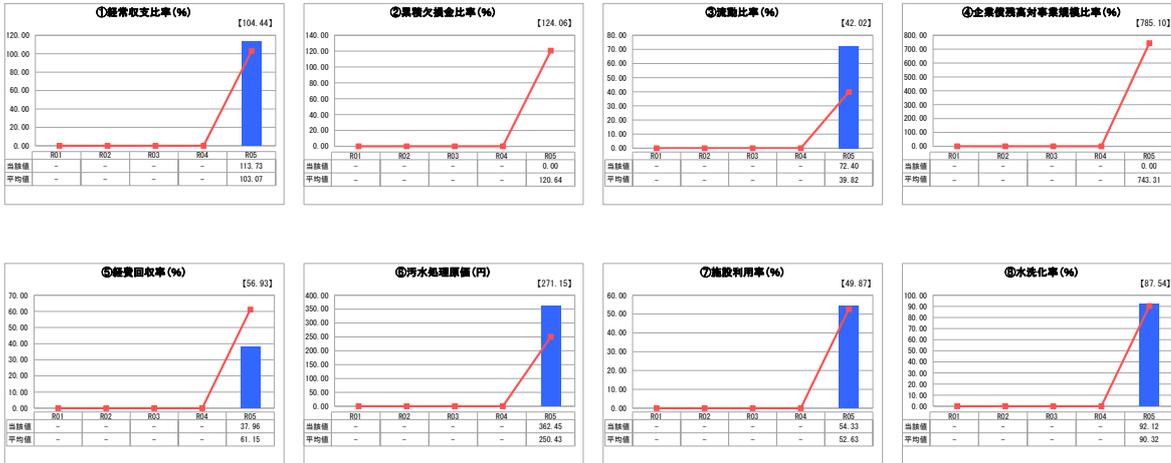
## 経営比較分析表（令和5年度決算）

表紙県 鹿嶋市

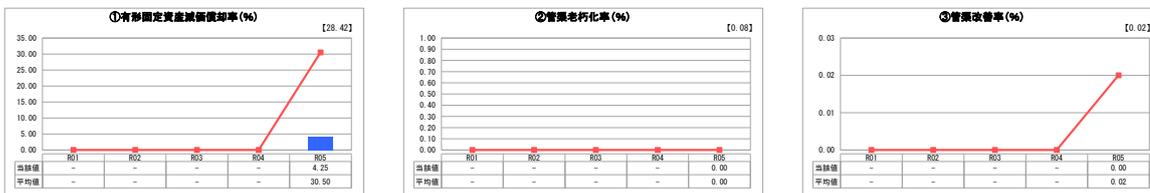
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置	65,797	106.04	620.49
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり定額料金(円)	処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	82.24	2.42	81.09	2,750	1,586	2.03	781.28

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和5年度全国平均

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



### 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より法適用(令和4年度以前の数値なし)。  
 ① 經常収支比率は、一般会計からの繰入もあり100%を上回ったが、今後処理場の老朽化に伴い更なる費用の増加が見込まれる。使用料の見直しを含め検討をしていく必要がある。  
 ② 未処理欠損金は発生していない。  
 ③ 流動比率については類似団体平均値を上回っているものの、100%を大きく下回っている。使用料収入を増やすためにも加入促進に取り組んでいきたい。  
 ④ 企業債務を一般会計負担金により賄っているため使用料水準の見直しや施設更新の検討を行う。  
 ⑤ 経費回収率は4割に満たない状況であり、使用料の見直しや、加入促進により回収率の向上に努める。  
 ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均値を上回っている。処理費を抑えつつ効率的な維持管理に努める。  
 ⑦ 施設利用率は、類似団体と同水準ではあるものの、受け入れ水量に余裕があるため、新規接続や浄化槽からの切り替え促進を行ってきたい。  
 ⑧ 水洗化率は、類似団体平均値を上回っているものの、積極的な推進活動を行ってきたい。

#### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、一般会計(法適用)1年目のため、類似団体と比較しても数値は低いものの、施設は老朽化している。適切な維持管理が必要となる。  
 ② 管渠老朽化率③管渠改善率ともに0%であるが、これは管渠の延長をおこなっていないためである。今後老朽化・長寿命化対策として、施設の修繕や改修を検討していく必要がある。

#### 全体総括

本市の農業集落排水事業は爪木施設が平成20年より供用開始して16年、大船津施設は平成12年より供用開始して24年、中村施設は平成元年より供用開始して35年が経過しており、施設の更新を検討する必要がある。  
 また、汚水処理原価が高い状況や今後の人口減少による施設利用率も踏まえ、本事業を継続していくためにも、安定した使用料収入の確保と効率的な維持管理を行い、広域化・共同化を検討する必要がある。

※ 「經常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。